

BUSINESS REVIEW 2012

第2四半期累計ビジネスレビュー

2011年9月1日 ~ 2012年2月29日

株式会社 ファーストリテイリング



GROUP HIGHLIGHTS 2012

- ▶ **2012年8月期 上期連結業績**: 売上高5,255億円(前年同期比14.9%増)、営業利益917億円(同11.8%増)の増収増益
- ▶ **国内ユニクロ**: 上期の既存店売上高は2.3%の増収、営業利益も増益
- ▶ **海外ユニクロ**: グレーターチャイナ(中国・香港、台湾)、韓国で店舗数が大幅に増加。上期の海外ユニクロ事業の営業利益は4割増
- ▶ **グローバル旗艦店**: 2011年秋にニューヨーク5番街、ソウル、台北にグローバル旗艦店を出し、ユニクロの知名度が世界市場に広がる。2012年3月には銀座にもグローバル旗艦店がオープン
- ▶ **ユニクロ商品**: ヒートテックの販売が引き続き好調、グローバルで1億点完売。ウルトラライトダウンも前年比で生産数量2.5倍まで拡大
- ▶ **ジーユー**: 店舗網が164店まで拡大。旗艦店のオープンやTVCMの効果もあり、知名度が飛躍的に向上。年商500億円突破の見込み
- ▶ **CSR活動**: 東日本大震災、被災地への「ユニクロ復興応援プロジェクト」を立ち上げました
- ▶ **配当金**: 中間配当金は1株当たり130円を実施、年間では260円を予想

UNIQLO GINZA

銀座に、世界最大のユニクロ



3月16日、世界で9番目となるユニクログローバル旗艦店が銀座中央通り沿いにオープンしました。12階建ての全フロアを占める売場面積は1,500坪で、ユニクロ史上世界最大です。ニューヨークやパリに続き、世界有数のファッションの中心地である銀座から「あらゆる人に、本当に良い服を楽しんでいただける、日本発のグローバルブランド」を世界に向けて発信していきます。世界中から観光客が訪れる銀座店では、外国語のできるコンシェルジュ(総合ご案内係)が常駐し、店内で働く約500名のスタッフのうち100名が英、仏、中、韓、スペイン語のいずれかを話せます。また7階のキッズ&ベビーフロアには、保育士や幼稚園教諭の資格をもつスタッフが常駐し、小さなお子様連れでのお買い物をお手伝いします。

次世代の服。ユニクロは世界を変える



ニューヨーク5番街という世界最高の立地にユニクロのグローバル旗艦店を出店したことで、世界中の人たちに「ユニクロ」を知っていただくことができました。ユニクロの服とは、「服装における完成された部品であり、着る人の価値観からつくられた服、世界中のあらゆる人のための服」です。このユニクロのコンセプトは、流行だけを追うアパレル企業とは一線を画しています。

ニューヨーク5番街への出店は、我々を世界で最も注目されるファッション小売業へ躍進させたことと確信しています。今後、我々がグローバル市場で勝ち抜いていくためには、ユニクロのコンセプトを大事にして、他社を模倣することなく、新しい服を創造していく以外に道はありません。ユニクロがめざすのは、次世代の服であり、世界を変える可能性のある服です。

すでに成功を収めつつあるアジア地区ではユニクロの出店ペースが加速しています。今期はグレーターチャイナ（中国・香港、台湾）で80店舗を出店する計画で、海外ユニクロ事業全体の店舗数は、2012年8月末に291店舗となる計画です。米国でも着々と出店戦略を進め、2012年秋には西海岸（サンフランシスコ）へ進出すると同時に、ニューヨーク近郊の大手ショッピングモールにも出店予定です。欧州ではロンドン、パリに加えて、ベルリン、ミラノ、バルセロナといった主要都市への進出を計画しています。

我々は、日本市場でも圧倒的なナンバーワンになりたいと考えています。2012年3月に出店した銀座のグローバル旗艦店の大成功は、その第一歩です。2012年秋には新宿にグローバル旗艦店を、さらに原宿、渋谷、池袋、上野、大阪、名古屋、札幌など日本の主要な繁華街にグローバル旗艦店を出店し、それらの旗艦店を軸として、日本におけるユニクロを新しいステージへと飛躍させたいと考えています。

グループ事業のなかでは、ジーユーの事業拡大が最も期待されています。2012年3月には銀座にジーユーの3番目となる旗艦店をオープンし、大きな話題となりました。これにより「ファッション性と超低価格」を兼ね備えたブランドとして認知度がアップし、一段と業績が拡大する見込みです。

我々がグローバルに展開していくとき、世界中の人々にファーストリテイリングの企業姿勢を理解してもらうことが重要です。我々は、服のビジネスとCSR活動を車の両輪と捉え、「ファーストリテイリングが社会にとって良い企業であること」を伝え、実現させる努力をしています。これからも服を通じた社会貢献活動を推進し、服を変え、常識を変え、世界を変えていきます。

代表取締役会長兼社長 柳井 正



全世界に向けたショーケース ニューヨーク 5番街店



未来のユニクロを 全世界に発信していきます

世界の名だたるファッションブランドが集うニューヨーク5番街にユニクロのグローバル旗艦店をオープンし、米国のお客だけでなく世界中からユニクロが注目されたことは、私にとって大きな喜びでした。2011年10月に誕生した5番街店は、売場面積約1,400坪という広さと、ユニクロが入っている1〜3階までのフロアをつなぐ長いエスカレーターを中央に設けた斬新で未来的な店舗設計で、ニューヨーク人たちの話題を集めました。

この5番街店を含め、ニューヨークにはユニクロが3店舗あります。ユニクロがニューヨークで高く評価されているのは、「高品質でベーシックな商品」だということです。そして、ユニクロの店

舗でのサービスも高い評価をいただいています。商品が選びやすく、店内はお客で賑わっているのにレジ待ちがないなど、お客様を第一に考えているユニクロのサービスに感動したという声を多数お寄せいただきました。

こうしたユニクロらしさは、今後、全米でユニクロを展開していくための核となるものだと思います。ユニクロのDNAを大切にするために、米国で採用した大学の新卒者には、日本で半年間研修を受けてもらいました。ユニクロが米国で大成功するためには、米国で採用した人材の中から優秀な店長や経営者が誕生し、アメリカ人が中心となって全米のユニクロを経営していく会社になる必要があると思います。

米国は国土が広く、気候も人種もカルチャーもさまざまです。全米の大都市に、日本のようにどんどんユニクロを出店していきたいと考えていますが、地域によって売れ筋商品が異なるのが米国市場の難しさです。店舗ごとに商品構成を変えたり、 프로모ーションを仕掛けたりと、いろいろなチャレンジが必要でしょう。

ニューヨーク5番街店は、全世界に向けたユニクロのショーケースです。毎朝が新店オープンの気持ちで、常に斬新で未来のユニクロを感じさせる店づくりをしていきたいと思っています。

小竹 伸
ファーストリテイリンググループ執行役員
FAST RETAILING USA, Inc.
米国UNIQLO事業 CEO





「Hello Kitty」 チャリティTシャツを発売

ユニクロは、子宮頸がん予防啓発プロジェクト「HelloSmile」に賛同し、チャリティTシャツ「Hello Kitty」を発売しました。HelloSmileプロジェクトの趣旨に賛同する10名のアーティストが、日本生まれの大人気キャラクター「Hello Kitty」をモチーフにオリジナルのデザインをしてくださいました。このTシャツ1枚あたり30円がHelloSmileに寄付されます。日本全国のユニクロと海外の11の国と地域で、順次展開中です。

発売10周年を迎えたユニクロのプリントTシャツ「UT」は、これからもさまざまなチャレンジをしていきます。



HelloSmile

HelloSmile (ハロースマイル) は、ラジオ局のTOKYO FMが主体となって2010年にスタートした子宮頸がん予防啓発を推進するためのプロジェクトです。株式会社サンリオが、「ハローキティ」を応援キャラクターとして提供。他にも多数の企業がHelloSmileプロジェクトに協賛しています。



ユニクロはプロテニスプレーヤー 錦織圭選手を応援しています

2012年1月に開催された全豪オープン男子シングルスで、日本男子として80年ぶりのベスト8入りをしたプロテニスプレーヤーの錦織圭選手。ユニクロは2011年から5年間のスポンサー契約を結び、頂点をめざして戦い続ける錦織選手のためにウェアの開発をしています。

東レ株式会社と協働開発した吸汗速乾性の高いドライ素材を採用した優れた機能性と、彼の躍動感あるプレーが映える赤い翼に見立てた切り替えのあるデザインが特徴です。「汗をかきやすいので吸汗性は重要。気持ち良くプレーでき、デザインも機能性もいうことがないほど満足しています」と、錦織選手にも好評です。

ユニクロでは、錦織選手が全豪オープンで着用したのと同じモデルを、4月2日より銀座のグローバル旗艦店とユニクロオンラインストアで販売開始しました。機能性とファッション性をあわせもつウェアは、スポーツウェアにとどまらず、ユニクロがめざすカジュアルウェアの姿でもあります。

世界ランキングを昨年の82位から16位(2012年3月19日現在)に大幅アップした錦織圭選手の活躍を、ユニクロは今後も応援していきます。





ファッション激戦地での挑戦。 ジーユー銀座旗艦店オープン

3月30日にジーユーの旗艦店が、H&MやFOREVER21、ZARAといった海外のファッションアパレル店がひしめく銀座の中央通り沿いにオープンしました。「ファッションを、もっと自由に。」のコンセプトどおり、ジーユーは流行を取り入れたアイテムを驚きの低価格でお客様に提供し、おしゃれ心を魅了します。



ジーユー銀座店、オープン初日の模様

銀座店はオープン初日から多くのお客様で賑わい、その効果は全国のジーユー店にも波及しています。また、人気タレントの前田敦子さんを起用したテレビコマーシャルも好評です。海外進出も視野に入れているジーユーは、銀座店オープンをその出発点と位置づけ、今後も快進撃を続けていきたいと考えています。

前田敦子
×
ジーユー



上期の連結業績は、売上高5,255億円（前年同期比14.9%増）、営業利益は917億円（同11.8%増）、純利益は577億円（同38.7%増）と増収増益を達成いたしました。

連結売上高の約70%を占める国内ユニクロ事業は、9月～11月は気温が高く推移したことで、秋冬商品の動きが鈍く販売は苦戦いたしました。12月以降の気温の低下に伴って、冬物コア商品の販売が好調に転じ、既存店売上高は前年比2.3%の増収となりました。

また、売上高総利益率は48.2%と、前年同期比で1.3ポイント低下いたしました。これは、値引率のコントロールを強化したものの、綿花を中心とする素材価格や、中国の製造コストの上昇による原価率の上昇を相殺しきれなかったためです。

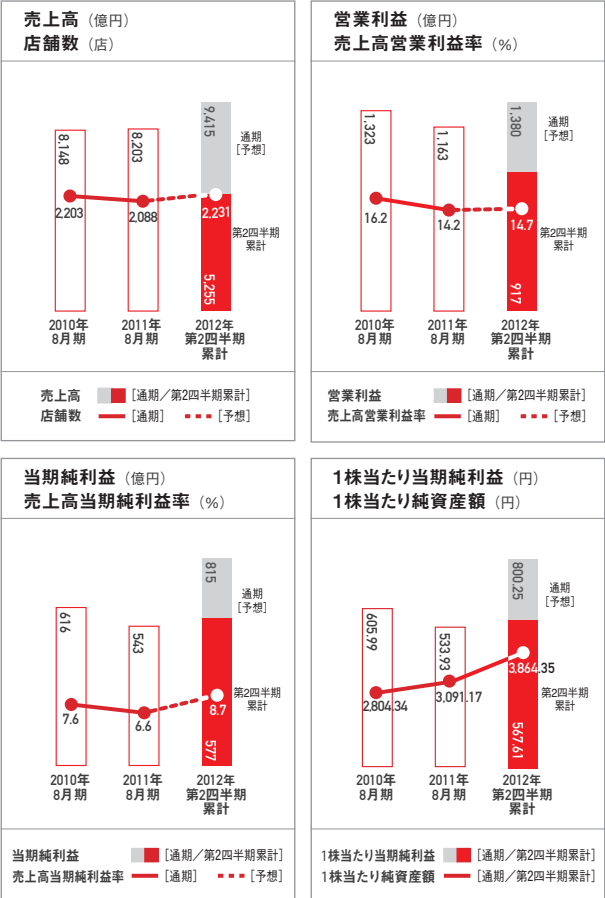
3年間の連結業績推移			
	2010年 連結会計年度末	2011年 連結会計年度末	2012年 第2四半期累計期間末
売上高(百万円)	814,811	820,349	525,502
営業利益(百万円)	132,378	116,365	91,752
売上高営業利益率(%)	16.2	14.2	17.5
当期純利益(百万円)	61,681	54,354	57,796
総資産(百万円)	507,287	533,777	608,021
純資産(百万円)	287,987	319,911	401,090
自己資本比率(%)	56.3	59.0	64.7
自己資本当期純利益率(ROE、%)	22.6	18.1	16.3
フリーキャッシュ・フロー(百万円)※1	65,234	30,515	103,163
現金及び現金同等物期末残高(百万円)	200,462	202,104	298,433
1株当たり当期純利益(円)	605.99	533.93	※2 800.25
1株当たり期末純資産(円)	2,804.34	3,091.17	3,864.35
1株当たり年間配当金(円)	230.00	180.00	※3 260.00
(1株当たり中間配当金)	(115.00)	(95.00)	(130.00)
連結配当性向(%)	38.0	33.7	※2 32.5
発行済株式数(株)	101,784,898	101,816,013	101,842,865
時価総額(億円、期末日終値ベース)	11,786	14,742	17,140
期末総店舗数(店)	2,203	2,088	2,161
※1 営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー			
※2 通期の予想を記載しております。			
※3 期末配当金は130円を予想しておりますので、通期では260円となる予定です。			

一方、販管費につきましては、経費削減努力を進めたことで、売上高経費比率を0.6ポイント改善することができました。

海外ユニクロ事業は、グレーターチャイナ(中国・香港・台湾)及び韓国を中心としたアジア地区の業績好調により、売上高848億円（前年同期比68.8%増）、営業利益114億円（同45.1%増）と大幅な増収増益となりました。

グローバルブランド事業では、セオリー事業が日米ともに好調な業績が続いています。ジーユー事業は、旗艦店のオープンとTVCMにより認知度が高まり、上期では既存店の売上高が20%強の増収、大幅な増益となっております。

なお、1株当たり中間配当金を130円とし、年間配当金260円を予定しています。



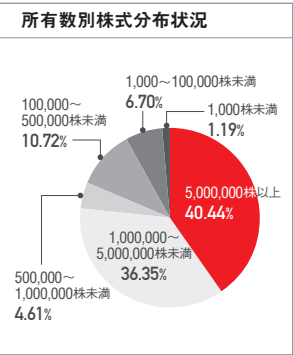
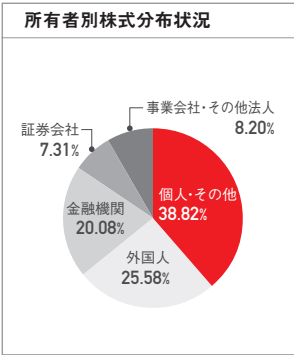
四半期連結貸借対照表		単位:百万円	
	前第2四半期 累計期間末 2011年2月28日現在	当第2四半期 累計期間末 2012年2月29日現在	前連結会計 年度末 2011年8月31日現在
資産の部			
流動資産:			
現金及び預金	81,204	109,317	64,386
受取手形及び売掛金	19,095	21,594	17,796
有価証券	170,222	189,127	137,728
たな卸資産	74,993	87,788	92,750
その他	42,965	25,852	57,309
流動資産合計	388,483	433,680	369,971
固定資産:			
有形固定資産	50,452	67,078	58,016
無形固定資産	46,038	40,968	40,751
投資その他の資産	65,356	66,294	65,038
固定資産合計	161,847	174,341	163,806
資産合計	550,330	608,021	533,777
負債の部			
流動負債:			
支払手形及び買掛金	70,701	82,057	59,395
未払法人税等	28,723	33,642	14,721
その他	98,551	61,843	108,726
流動負債合計	197,979	177,545	182,846
固定負債:			
長期借入金	12,540	11,404	13,688
その他	16,578	17,980	17,331
固定負債合計	29,119	29,386	31,020
負債合計	227,099	206,931	213,866
純資産の部			
資本金	10,273	10,273	10,273
資本剰余金	5,128	5,444	5,223
利益剰余金	366,702	418,630	369,717
自己株式	△ 16,194	△ 16,043	△ 16,144
その他の包括利益累計額	△ 47,264	△ 24,749	△ 54,339
新株予約権	653	864	510
少数株主持分	3,931	6,670	4,670
純資産合計	323,231	401,090	319,911
負債純資産合計	550,330	608,021	533,777
【連結財務諸表のポイント】			
① 現金預金及び有価証券の合計額は前年同期末比で470億円増加 国内ユニクロ事業をはじめとする、各事業の営業キャッシュ・フローが増加したことによりです。			
② たな卸資産は前年同期末比で127億円増加 海外ユニクロ事業で前年同期比84店舗増加したこと、グローバル旗艦店を3店舗オープンしたことにより前年同期末比で125億円増加したことが主な要因です。			
③ 有形固定資産は前年同期比で166億円増加 主に、海外ユニクロ事業での出店拡大、およびグローバル旗艦店の出店によるものです。			
④ 為替予約勘定(流動負債「その他」)が374億円減少 国内ユニクロ事業が保有する為替予約の平均レートとスポットレートの乖離幅が改善したことから、含み損が減少したことによるものです。ヘッジ会計を適用していることから、損益への直接的な影響はございません。			

四半期連結損益計算書		単位:百万円	
	前第2四半期 累計期間 自 2010年9月 1日 至 2011年2月28日	当第2四半期 累計期間 自 2011年9月 1日 至 2012年2月29日	前連結会計 年度末 自 2010年9月 1日 至 2011年8月31日
売上高	457,325	525,502	820,349
売上原価	218,901	257,016	394,581
売上総利益	238,423	268,486	425,767
販売費及び一般管理費	156,362	176,733	309,401
営業利益	82,061	91,752	116,365
営業外収益	533	2,746	1,897
営業外費用	4,934	953	11,173
経常利益	77,659	93,546	107,090
特別利益	64	238	228
特別損失	10,955	1,175	13,437
税金等調整前四半期(当期)純利益	66,769	92,609	93,881
法人税、住民税及び事業税	28,379	31,741	41,906
法人税等調整額	△ 4,367	1,118	△ 4,336
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	42,757	59,749	56,311
少数株主利益	1,088	1,952	1,956
中間(当期)純利益	41,668	57,796	54,354
⑤ 売上高は5,255億円、前年同期比14.9%増収 海外ユニクロ事業で345億円、国内ユニクロ事業で224億円、グローバルブランド事業で110億円の増収となっております。			
⑥ 売上高総利益率は51.1%、前年同期比1.0ポイント減少 主な要因は、国内ユニクロ事業の原材料や加工賃の上昇によるものです。			
⑦ 売上高販管費比率は33.6%、前年同期比0.6ポイント低下 主な要因は、持ち株会社および国内ユニクロ事業の経費削減によるものです。			
⑧ 営業外収支は前年同期比61億円の改善 前年同期は円高により、海外子会社向けの立替金や、グループ間の貸付金にかかわる為替差損38億円が発生いたしました。今年は円安により、16億円の為替差益に転じたことが主な要因です。			
四半期連結キャッシュ・フロー計算書		単位:百万円	
	前第2四半期 累計期間 自 2010年9月 1日 至 2011年2月28日	当第2四半期 累計期間 自 2011年9月 1日 至 2012年2月29日	前連結会計 年度末 自 2010年9月 1日 至 2011年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,549	123,736	57,158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,358	△ 20,573	△ 26,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,164	△ 10,065	△ 26,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 500	2,657	△ 3,142
現金及び現金同等物の増減額	50,526	95,754	1,215
現金及び現金同等物の期首残高	200,462	202,104	200,462
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	427	574	427
現金及び現金同等物の期末残高	251,415	298,433	202,104
⑨ 当上期末の現金及び現金同等物の残高は、前年同期末比で470億円増加し、2,984億円となりました。国内ユニクロをはじめとする各事業の利益貢献926億円などにより、営業活動による収入は1,237億円となりました。投資活動による支出は205億円、配当金の支出などの財務活動による支出は100億円となっております。			

会社概要		取締役・監査役	
		(2012年4月1日現在)	
商 号	株式会社ファーストリテイリング FAST RETAILING CO., LTD.	代表取締役会長 兼社長	柳井 正
本社事務所	山口県山口市佐山717番地1	取締役(社外)	半林 亨
東京本部	東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウン・タワー	取締役(社外)	服部 暢達
ユニクロ	0120-090-296	取締役(社外)	村山 徹
お客様窓口	9:00～17:00(年中無休)	取締役(社外)	新宅 正明
設 立	1963年5月1日	常勤監査役	田中 明
資 本 金	102億7,395万円	監査役(社外)	安本 隆晴
事業の内容	株式又は持分の所有による グループ全体の事業活動の 支配・管理等	監査役(社外)	清水 紀彦
連結従業員数	15,915名	監査役(社外)	渡邊 顯

株式の状況	
会社が発行する株式の総数	300,000,000株
発行済株式の総数(自己名義株式を含む)	106,073,656株
株主数(自己名義株式を含む)	9,156名

大株主	持株数(株)	持株比率(%)
柳井 正	22,987,284	21.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,200,900	7.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,395,000	6.03
ティティワイマネージメントビーヴィ	5,310,000	5.01
柳井 一海	4,781,808	4.51
柳井 康治	4,780,600	4.51
有限会社Fight&Step	4,750,000	4.48
株式会社ファーストリテイリング(自己株式)	4,230,791	3.99
有限会社MASTERMIND	3,610,000	3.40
JPモルガン証券株式会社	2,584,419	2.44



株主メモ	
事業年度	9月1日～翌年8月31日
定時株主総会	毎年11月下旬
同総会議決権行使株主確定日	毎年8月末日
期末配当金受領株主確定日	毎年8月末日
中間配当金受領株主確定日	毎年2月末日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード 9983)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
電話お問い合わせ 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711(通話料無料)
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（ http://www.fastretailing.com/jp/ir/ ）に掲載いたします。なお、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。また、当社の貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページの上記アドレスに掲載しております。
単元株式数	100株
ご注意	1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

IRホームページ紹介

<http://www.fastretailing.com/jp/ir/>



FAST RETAILING

www.fastretailing.com

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」